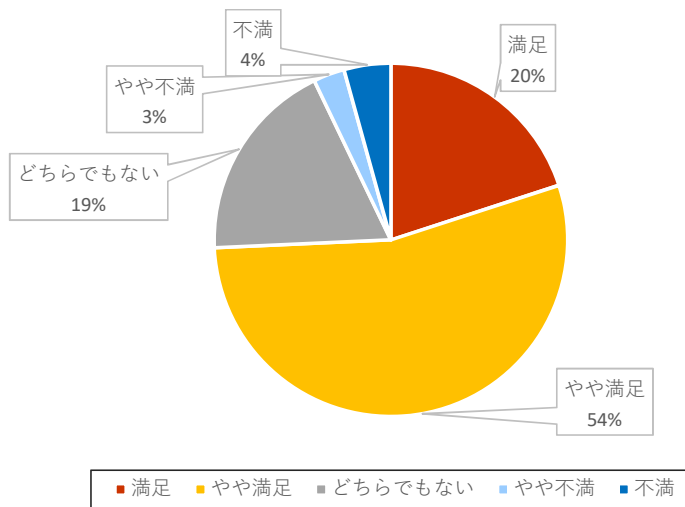


「まちづくりから道路整備を考える」シンポジウム観覧者アンケート

Q1. シンポジウムは、どの程度満足いただけましたでしょうか。

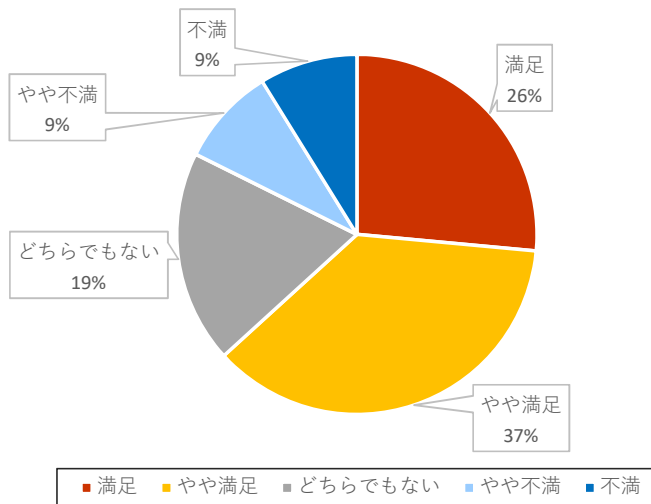
①さとことプレストの報告

n= 70



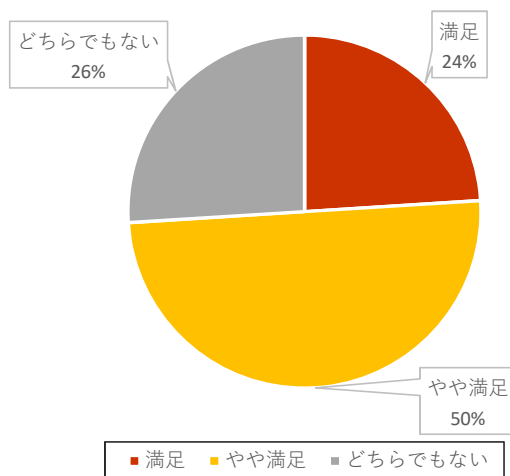
②基調講演

n= 68



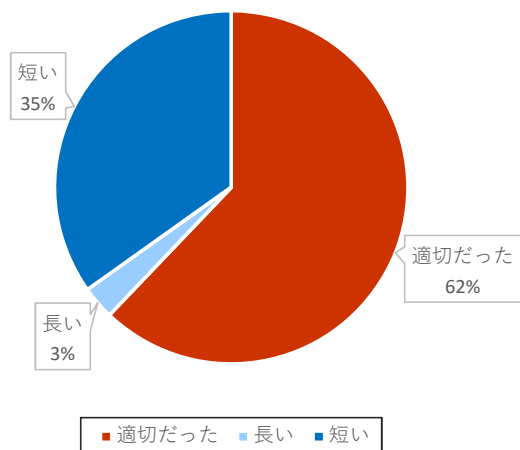
③ディスカッション

n= 66



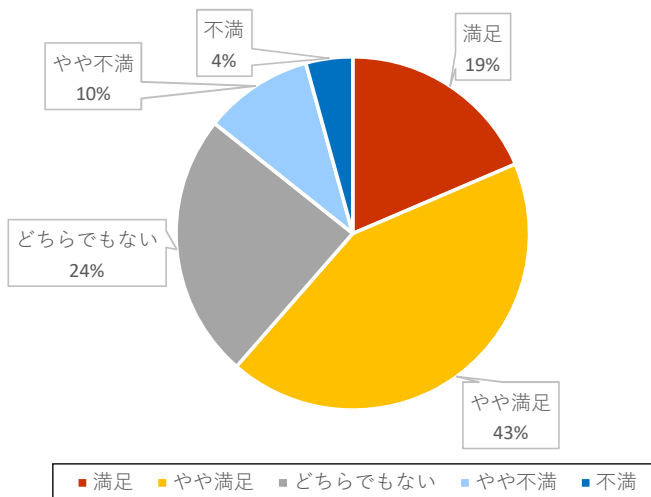
Q2. シンポジウムの時間について、お答えください。

n= 66



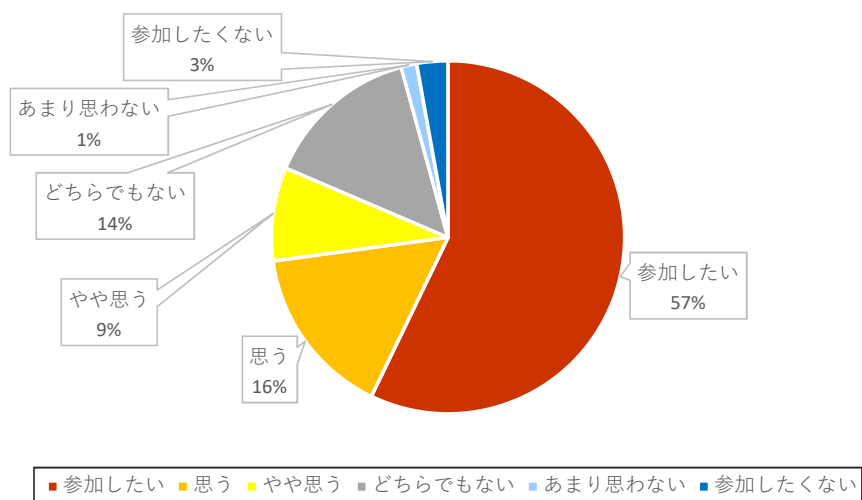
Q3. 全体を通して、どの程度満足いただけましたでしょうか。

n= 70



Q4. 今後、区が開催するまちづくりに関連するワークショップ等のイベントに参加したいと思いませんか。

n= 70



○自由意見

チャットの意見発信は難しい。言葉で意見交換もしたい。

報告でもあったように西荻でも高円寺でも「こじんまりした個性的なまち」が住民に好まれ、個人商店が多い街の魅力を残してほしいという気持ちを多くの人が持っている。さりと Presto で積み上げた内容が、今回のシンポジウムでは生かされていなかったのが残念。基調講演にも壇上の発信者にも。道路の当事者の立場からの発信者がいてもよかったと思う。

ディスカッションにチャットでしか参加できなかったことが残念。会場との意見交換・質問の時間を設けてほしかった。

シンポジウムの開催日時の情報を障害者福祉施設等にも流して欲しい。

- 1.基調講演が「今回道路を作るといふことで」に始まり、多くの人から見直しが求められていて、そのために Presto を行って来た。道路拡幅ありきで話されていて、不適切に感じた。75歳の男性が立ち退きまでどうすればよいか、という例え話も不愉快。
 - 2.都市計画道路担当の事業だが、区の職員はどう受け止めているのか。道路拡幅へのプロセスと捉えているのか。シンポジウムへの関与が見えないので、疑念を持つ。
 - 3.チャットの導入はデジタルディバイドを生んだ。客席で打ち込んでいる人は少ない印象。少なくとも事前に告知するべき。充電が足りないとかもあり得るし、機器を貸し出しするとしても、慣れないものをすいすい使えない人の方が多いそう。今後やるのはいいが、検証が必要。
 - 4.Presto の報告資料とアンケートを見て。西荻地域の頻出ワードがど真ん中に西荻。これはよく見てほしい。西荻の人たちはいかに西荻が好きか、西荻を守るためにどれだけ真剣に考えているか。
 - 5.道路についての意見は Presto でもアンケートでも、圧倒的に「見直し」であり、整備事業の方向も「歩きやすく」「車が入れないように」「自転車が安全に」である。現行の拡幅計画を望む声はほとんどないのに、いかにこの意見を落とし込むのか。
 - 6.アンケートは特定の道路事業を指定したものではないので、「歩道がない道」を課題とする声が多い。西荻においても補助132号線よりも駅前、北口伏見通り、神明通りの歩道がない道路の方が喫緊の課題。また、バス乗り場の整備も必要。西荻以外では荻窪南口も歩道が狭くて危険。優先整備路線よりも優先すべき事業はたくさんある。予算が限られる中、そちらに回すべき。
- ン会議が従来通りに拡幅事業を進めるためのプロセスにされてしまっては困る。
- 9.デザイン会議のロゴは、西荻については空想新聞と似すぎ。高円寺は高円寺の文字が小さい。
- 以上です。

道路作りは土木業が大きく関連するので建築ばかりではなく土木系の方の発言もほしい。良い試みなので続けていただきたい。

講師の方は道路をつくること、そのものには賛成みたいで損する住民が納得すれば道づくりはOKみたいで異和。「住民の文句の差がうまるようにしよう」では、今回の方向が前区長そのもの。

基調講演は、一般的なこと(すぎて)西荻らしさを議論すべき。不親切なのではないかと感じた(今、問題になっているのは、立ち退きで得する人、困ってる人だけの話ではなく、西荻らしいまちづくりとはという話ではないか)。講師の方の問題ではなく、これまでのさとことプレストを反映したアジェンダにできなかった。
庄の問題を感じる。残念です。次回以降に期待します。

ディスカッションをスマートフォンで参加するという手はよいアイデアだが、高齢者の方も多く参加し、スマホの使い慣れていない世代なので、その方達の配慮に欠けている。

大学院での実習を思い出しました。
しかし、多くの場合、権威にはかなわないことがわかるばかりなんですよ。私立大学の方も含めた方が良いのでは。

西荻オンリーでやってほしかった。

参加者もチャットで議論に参加できたのがよかったです。
デザイン会議、是非参加したいです。

70年は長すぎた。やる計画は中止にしてほしい。中止はないですか。今の現状を見てほしい。

西荻らしさって何(パネリストがいつている)。
今回のシンポジウムや今後の話し合いは、道路拡幅ありきの前提で行われるものでしょうか。プレストの時もそうでしたが、区長は議会で拡幅もしようがない発言をされているようですので、意見をきくというパフォーマンスではなく、拡幅しますで宣言されたらいかがですか。納得しがたいですが、区長の発言をもっとしてほしかった。拡幅ありきの新提案なので、そこははっきりしましょう！

まず、このような会がきちんと区主体で開催されていることを評したいです。進め方はディスカッションになっていたのか？でしたが...。
いろいろな知識やワードが知れて、ありがたかったです。

主語が大きすぎて、内容が無い。

チャットで意見を言う(会場から)システムは良いと思った。整理を手伝う助っ人が必要(進行役が大変)。

高円寺の代表のお2人(パネリスト)は話が長かった。

岸本区長は途中発言してもよいのでは？

松本さんの車を止めてみる案に賛成です。区長の「新しい時代」という言葉、響きました。道路は白紙に戻してください。

区長の真剣な取組み姿勢とプレスト&基調講演のスタンスのギャップが大きすぎて、「まちづくり」の具体的なイメージが湧いてこなかった。

西荻デザイン会議、高円寺デザイン会議とてもいいと思います。

ありがとうございました。

大変お疲れ様でした。デザイン会議の進め方の議論を次にすること、とても大切だと思います。民間開発のことも話し合っていけることを望みます。

「さとことプレスト」のフィードバックがあったことはよかった。

基調講演の内容は、考え方としてなるほどと思う部分もあったが、立ち退きを迫られたA氏のケースのようにみんながうまく行くはずがないと思う。

パネリストはどのような基準で選んだのだろうか。不動産屋の方の意見はわかりやすくよく理解できた。が、70年前の人が今を生きる我々のために道路拡張を計画したとかいう意見はあり得ないと思った。また、バスの運転手が大変なのは西荻の駅前道路以上に西武線駅前などではないか。狭い通りは他にもいくらでもある。パネリストの一人は何を聞かれても防災一点ばりで話が長くてわかりにくかった。高円寺は確かに防災が大切なポイントかもしれないが西荻窪はそうではないと思う。西荻窪には噛み合わない話だと感じた。そして、西荻窪の132号線沿いに5階建てのワンルームマンションが建つという話はショックだった。規制が必要だと思う。

全体を通して132号線の拡張は決まったものとして話が進められているように感じ、どうして、拡張の必要の是非から住民参加で考えられないのかと非常に残念な気持ちになった。莫大な税金を道路拡張のために費やすべきかどうか、そこから考えてほしい。

今日歩いてみたら、道路予定地で工事が始まっていた。これからみんなで考えていこうというムードなのかと思っていたのに、裏切られた気持ちになって悲しかった。

もう少し意見を出し合うとか討論するとか皆が気にしていることについて聞いたかった。岸本さんはなかなか活かさなかったが、最後の今後の発表が一番良かったかもしれないが、道路計画進めます(今まで通り)の杉並区としての発表は(区報見ると)腹立だしい(岸本さんの話してでなく)。それが住民の意見になってるようだ！もっと住民の意見、案を取り上げ、組み込んでいって欲しい。

以前の杉並区政の会見と雰囲気が全然ちがっていて嬉しくなりました。責任はあるけれど、責任は取らないと言う姿勢で事業を進めると杉並区、そして東京、日本の未来は無いと思います。やはり、責任を持つためにも、慎重になって下さい。
今回は参加出来る場を作って頂いて、こちらこそありがとうございます。

西荻の4回のプレスト内容が、本日反映していない、とあるので何のためのプレストだったのか。参加者で精査すべきだ。建築士会は何をやっているのか無責任だと思う。

西荻と高円寺だけでなく！「さとことプレスト」の評価ディスカッションは、この場に合わない。

壇上の人達の声なら、当事者同士で。

貴重なインフラ作りである。深耕拡大の議論を！（議員、職員では無理）

プラットフォームのあり方に興味があります。デザイン会議に参加したいです。特に高架下のあり方に参加したいと思います。

議論になっていない感じがした。

区長提案は行政と議論された結果の内容であり、よかったと思う。

- ・講師の方は杉並を知らない方。饗庭さんは該当道路について知らなさすぎ。
- ・パネリストは賛成ばかりで、人選が単眼的。
- ・行政はもっとオープンに討論ができる人を選ぶべきと思いました。
- ・色々な人達が大事。

画面が薄く(文字)見づらい。氏名の表記もはっきりみえない(薄い)。具体論が欲しい！！

プラットフォーム、期待大です！！

公民連携のプラットフォームの参加メンバーをどのように決めるのか、様々な方が入れるような仕組みの検討をお願いします。

高円寺と西荻ではだいたい計画の性格の質がちがうので話がかみあわないと思いました。

道路拡幅ありきにかたよっていたと思います。

議論の方達を、否定に思っている方にも参加していただきたかった。

132号線、221号線とも、用地取得が進まず、工事が完成しない可能性も高い。その場合にも、その期間の生活が安心してできることも、考えてほしいです。

色々な意見を整理する為の(仮でも良いから)視点が無すぎる様な気がする。
持論Fixされているという誤解をまねく恐れもありますが。

建築士会が進行を担っているせいか、推進に導く場となっている感が強かった。特にパネ
ラー、報告者のまとめ、等しく偏向を感じました。但、こうした取り組みが行われたことは
前進です。

こういう会合の積み重ねで、徐々に意見が集約されていくものと考えますし、そうなってほ
しい。私は、できるだけ出席いたします。

基調講演について、例が不適當なのかもしれないが、道路について自分の目指している環境
とは違って、道路が出来れば防災に良い事なのか、から考えたい。

問題点を区はどのように対応していくか、いるか。報告してほしい！！

デザイン会議がみんなでうまくいくことを希望しています。

講師の先生のお話のがっかりしました。道路づくりを前提とした話で、特に「75才Aさん」
の話は、テキトーな空想話で、何でこのような話にするのか、オチにするのか、怒りを感じ
ています。

せっかく同じ会場に来ているのに、来場者同士、生の話、生の声がきけず、チャットでの交
流にも違和感があります。

長い間のまちづくりの一角がやっと見えてきた感ありで、今後は区民の全員が自分でできる
事を、実現に向けて進行していけばどうにかなりそう。

さとことプレストの報告会としてのシンポジウムは、従来までの道路整備説明会などに比べると住民に寄り添う形で行われたと思う点では大いに評価できると思う。

シンポジウムではもう少し区長の発言があったら良かったかと思います。

一旦、さとことプレストの報告という形で、行政側から今後の方針としてデザイン会議を制定することが示されたことも個人的には非常に革新的なことだと思いました。

ひと言でいうと扉は開かれた。という感じ。

一方でこれだけでは民意が反映されるかどうか懐疑的だと考える人も多いようなので、本気で扉を開こうと考えているのであれば、時間はかかるかもしれないけれども住民との信頼関係を築いていただきたいと思う。

信頼関係を作る一つの方法として【パブリックライフ調査】というものを一緒に実施してみることが提案したい。

これは欧米でも都市計画を策定する際に使われている手法で、まちがどの様に使われているかを調べるもの。

住民がこの調査に参加することが非常に大事で、それにより様々な立場の人の参加意識が生まれ、調べる／話し合うというプロセスを作ることによって納得感ができてくるという効果があるそうです。

これを行政だけでなく、住民だけでなく一緒に行うことで連帯感も出来てくるのではないかと思います。

今は【共感】が人の心や世の中を動かす時代です。まずは住民と同じ目線でまちを見て、感じる。

そんなことが一緒にできると良い信頼関係につなげていけると考えます。

LiveQを使った質問・意見提出の試み、「QRコードを読み取れない方には端末を貸す」との対応、いずれも多くの意見をペーパーレスで集め、共有する手段としてよい取り組みと思いました。但し私も区長同様、スマホでの入力には慣れないため、事前にわかっていたらPCを持参したと思います。

後半のディスカッションは書き込みがスマホでは難しく、書かれたものを見るのと自ら発信するを両立させるのは難しかった（若者向き？）

直接の当事者でない出席者が多いようで、（地元の出席者は殆ど見かけなかった）

前回のプレストもそうだが、第三者的な頭でっちな不安、不満の表明が多く、身のある議論にはなかなかない

こんな物を地元の声などと総括されたらたまった物ではない

区長提案の組織立ち上げは、議会との関係が不明確で、越権行為のようにも映る

議会関係者はなぜ居ないのか

議会の公聴会のような形が相応しいのではないか

地域の問題を政争の具にしようとしているとも思える

議会の付託事業を効率よくスピーディに処理するのが行政の立場では？

全体の時間は、もう少しコンパクトにできたのでは？ライブQのチャットは、スマホ画面やプロジェクターに参加者視線が取られ、ライブ感が削がれたようだ。残念…

パネリストのみなさん、ブレストに参加された経緯など、多様な意見があることを知り、勉強になりました。ただ、講師の先生にやや不満。なにがおっしゃりたいのか……わかりませんでした、進行も？。なので、講師謝礼に、区のお金が使われるであろう、というところで減点させていただきました

区長がブレストに参加して区民から受け取ったメッセージ「残念なことにしてほしくない」は合っていると思います。計画がより良いものになれば、全員賛成でなくとも、合意できる人が増えると思います。

個人的には、西荻窪駅から青梅街道までの道路にはあまり関心は持って無くて、他の道たとえば伏見通りや、神明通り、西荻窪駅から五日市街道まで、その先の井の頭通りまでの道路に関心があります。

ブレストに参加する人が限られているので、その参加者がそれぞれ事前に予備ブレストを開催して、小さな意見(例えば子ども、障害のあるかた、まちづくり関わったことのないかた、など)との対話を充分にしてから、今後のデザイン会議などにも臨むのが良いと、感じました。

(障害児を含み三児の母からの視点です)

もっと参加者の意見交換ができれば良かった。

デザイン会議にも参加してみたい。

会場にWifi設備が欲しい。

チャットを使うのであれば、事前に教えていただければ、タブレット端末を持ち込んだのに。

今日の参加者は年齢層の偏りが大きく、デザイン会議も高齢者や道路整備に対する意識の高いひとの参加に偏ると思う。学校などとも連携しながら、若年層や働く世代、あまり行政に興味を示さない層の参加も増えるような工夫をして欲しい。また、まちづくりに関しては、西荻と高円寺の都市計画道路整備がメインになっているが、高円寺・阿佐ヶ谷・方南町などの木造密集地域における細街路整備についても議論を進めて欲しい。これらの地域も、「まちのごちゃごちゃ感」が文化の源なのではないか。

ディスカッションのチャットの内容も、記録として残して欲しい。あわよくば、それに対する見解も得られると良い。

さることブレスト、大変素晴らしい試みだと思いますし、自分が生まれ育った街にこうした姿勢を持つ区長が誕生したことを誇りに思います。ただ、あえて学生としての意見を述べるとすると、若者の声をちゃんと拾うことができたのが気になりました。もし今後ブレストをする機会があれば、是非参加者へのリーチの仕方（インスタなどSNSの広告を使うとか）を含め、より多様な方々の意見を拾うことができるような仕組みになると、よりインクルーシブなまちづくりへの道が開けるのではないかと思います。また座組みについて、もう少し市民と区長、或いは市民同士の意見交換の場があるような形態にしても良いのではないかと思います。それから最後にもう一点、こうしたブレストの機会は、必ずしも都市計画に合わせる必要はなく、他の様々な地域で色々なタイミングで実施して良いのではないかと思います。今後の取り組みに大変期待をしているので、少しでも参考になれば幸いです。ありがとうございました。

初めての試みなので仕方がないが、チャットがもう少し上手く処理してくれると面白かった。でも、次回も絶対にやって下さい

スケジュール感が見えない。ただ、スケジュールありきも好ましくないと思う。杉並は、住宅地が多い。豊かに穏やかに生活している人が多い。火災など災害への耐えるまちづくり、生命を守るまちづくりが大切です。

区長のご意見をもう少し聞ける時間が長い方が区民としては嬉しいです。

専門家である饗庭伸さんの講演でまちづくりの考え方、合意形成の図り方やステップがよく理解できましたありがとうございました。

また、建築士会の方々も多くの意見を丁寧にまとめていただいたと思います。最後のディスカッションについてですが、内輪の話題、持論多かった印象なので、区の関係者、専門家を交えての意見が聞きたかったです。

今回かなりの時間を割いて、一方的に地域の空間を生かす話をされて違和感を持ちました。区長と住民の対話なら興味がありますが、それに何でチャットなのか？わざわざここに来る必要がないです。区がアンケート集計しやすいから？道路のこと自体は時間をかけて構いませんので、まず区長に杉並区を俯瞰的に把握していただき、優先度の高いことを進めてもらいたいです。そしてオランダの街との共通点や違いなどもぜひ伺いたいです。現在高円寺に住む30代の息子夫婦が3年後にオランダ移住の計画を持っています。オランダについて私は知りませんが杉並区が「孫と暮らしやすい街」になれば、移住しないかとも考えましたので提案いたします。2世帯が同居するのではなく、杉並区と一緒に居住すれば、若い世帯の家賃補助金を出す等はいかがでしょう。少子化と高齢化の両面で対策が立てられると思うので、ご一考ください。